

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 東リ(株) 伊丹工場

1 環境保全活動に関する方針等

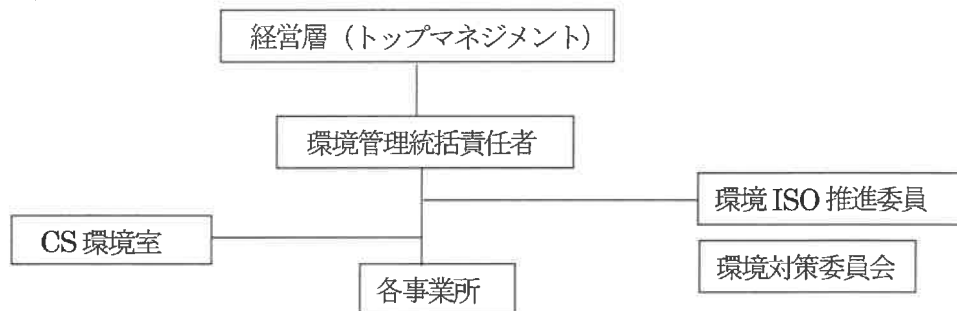
1-1 環境方針

当グループは、あらゆる企業活動の場面において、環境共生社会の実現をめざします。

1. 企業活動全ての分野で環境への負荷を低減させるため、適切な施策を実施する。
2. 地球環境保全に有効な環境配慮設計、顧客サービスに積極的に取り組む。
3. 活動における省エネ・省資源／リサイクルに継続的な取り組みを図るとともに、地域社会と共生した環境活動を推進する。
4. 事業活動にあたり、環境に関する法令・規則を遵守し、企業の社会的責任を遂行する。
5. 環境目的・目標を設定し、環境マネジメントシステムの運用により、その達成に努める。
6. 環境マネジメントシステムの継続的改善を実施し、その有効性につき定期的にレビューする。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

◆環境管理に関する体制



環境統括管理責任者：環境マネジメントシステム（EMS）の要求事項が確立され、実施されかつ維持されることを確実にする。また、EMSの改善のための提案を含め、レビューのために、経営層にEMSのパフォーマンスを報告する。

環境ISO推進委員会：東リ株式会社の環境に関わる事項の見直しを審議する最高機関。

環境対策委員会：環境対策を全社的に検討する為に開催される委員会。

CS環境室：EMSの維持・運用について、内部環境監査の実施、環境ISO推進委員会及び環境対策委員会の運営、環境教育の実施などの業務の責任と権限がある。

各事業所：EMSの維持・運用について、各事業所に1名環境管理責任者をおく。

◆担当部署の名称及び連絡先の明示

CS環境室 TEL：06-6494-1535

2 環境保全活動の実施状況等

目標	取組結果	今後の取組計画
1.リサイクル率 前年比 1%UP	リサイクル品種増を図るもリサイクル率減前年比 0.3%減 (伊丹工場)	設備導入によりリサイクル率増を図る。
2.環境負荷低減促進	長寿命商品、メンテナンス省力商品の発売 (商品企画部)	継続的な環境負荷低減商品の発売と販促活動
3.グリーン購入の実施 (前年度比 1%UP)	- 総合カタログ、ラグマットカタログに FSC 紙使用 - 名刺台紙、コピー用紙として FSC 紙購入 (総務部、商品企画部)	印刷物の需要減への対応。コピー紙の FSC 使用拡大。
4.省エネ 原単位で前年度比 1%削減	- ガスバーナー更新により都市ガス削減、設備改善活動、蒸気ドレン回収、脱臭装置放熱ロス削減等により前年度比 1%以上削減。 - 社用車のエコカー (ハイブリッド化) 比率の向上に取組み、通期で 6 台 累計 11 台となった。(総務部) - トラック積載率の向上による輸送エネルギー使用量削減に取組んだものの、原単位で前年比 6.7% 増となった。(物流企画部)	- 生産活動におけるエネルギー消費量を原単位で前年比 1%を削減する。 - エコカー増に対する多角的な面からの評価。 - 便体制を見直した積載率の向上。
5.廃棄物対策 原単位で前年度比 1%削減	- 不良率削減に取組んだものの、原単位で前年比 10.8%増となった。(滋賀東リ伊丹事業所) - 配合変更、及び構成変更によるリサイクル品種増により前年比 5.6%削減 (伊丹工場)	継続した不良率の削減に取組む。
6.化学物質の適正管理 製品規格、SDS等への記載	- 環境安全委員会での情報共有と対策の実施 (MDI、非フッ素、2E1H 研究、SDS 見直し、不使用保証書収集、など) (全社) - 省庁、関連行政機関、業界団体が発信する化学物質情報の監視の実施と関連部門との共有 (NITE ケミマガ情報、など) (全社)	対策だけでなく先行出来る取組も必要。
7.地域社会への貢献	伊丹市環境関連施策への参画として、環境監査への従事に取組んだが、コロナ禍により 8 月の監査は見送られ、12 月に書面実施となった。(総務部)	積極的な対応の実施。
8.環境教育	- 環境報告書 2020 の開示 (全社) - 製造部門、本社部門、物流部門による環境目標の見直し。(全社) - 環境マネジメントシステム体系教育の実施 (全社)	継続的な実施と CSR レポート開示に向けた準備。